

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2025年 11月 21日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

ニチコン草津株式会社

代表取締役 森 威男

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項、第22条第2項において準用する同条例第21条第1項）の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）	ニチコン草津株式会社 代表取締役 森 威男
事業者の住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	ニチコン草津株式会社					
事業所の所在地	滋賀県草津市矢倉2丁目3番1号					
主たる事業	細分類番号	2	8	2	1	抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2024年度	～	2026年度
報告対象年度	令和6年度		

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の実施状況

取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1 運用対策	都市ガス用ボイラ活用による低減 A重油2.71/kl→13A都市ガス2.28/千m <sup>3</sup>	継続管理 CO <sub>2</sub> :360t/年低減
2 運用対策	ボイラ蒸気削減 ①蒸気配管の保温修理 ②スチームトラップの蒸気洩れ修理	継続管理
3 運用設備更新対策	昼休み時の照明消灯タイマー設定等の消灯等による電気使用量の低減 OA機器の未使用時での停止	継続管理
4 運用設備更新対策	LED照明活用及び更新による低減	継続管理
5 運用対策	生産設備の運転時間管理 効率の良い運転計画により電気使用量の低減	継続管理
6 運用設備更新対策	コンプレッサーの消費電力削減 省エネタイプへの更新、エア漏れ箇所の修理による電気使用量の低減	継続管理
7 運用設備更新対策	エアコンの温度適正化、高効率化及び省エネタイプへ更新 1)室温の温度管理 2)フィルターの清掃 3)R22タイプ更新	継続管理
8 運用設備更新対策	電気自動車・HV車更新活用による低減	以降継続管理・導入検討 CO <sub>2</sub> :2.43t/年
9 運用対策	歩留り向上による省エネ	継続管理
10 運用対策	リードタイムの短縮による省エネ	継続管理
11 運用設備更新対策	設備改善による省エネ	継続管理
12 運用対策	蓄電、ピークカットによる放電 (自社商品分散電源の導入活用)	継続管理
13 運用設備更新対策	モーター設備のインバーター化	継続管理

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1 CO <sub>2</sub> 他	電気自動車・HV車導入による排気ガスの低減 (自社用品急速充電活用)	継続管理
2 CO <sub>2</sub> 他	空調機特定フロン(CFC・HCFC)タイプの更新	継続管理
3 CO <sub>2</sub> 他	自然エネルギーの有効活用(太陽光)	167,002kwh CO <sub>2</sub> 64t

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

取組計画に対して、ほぼ実施ができました、今後は施工した物を低エネルギーで稼働できる様、調整を図ります。又LED照明導入の促進、HV車の導入を検討し省エネルギー化を進めていきたいと考えます。

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>自然エネルギーの蓄電・使用による資源消費の低減(化石燃料)、地球温暖化防止、ピークカットやピークシフトなど系統電力を抑制します。 又大震災などの災害時に非常用電源としても利用できる分散電源を販売しております。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・CO<sub>2</sub>の大幅な低減 (売電の比較) 3.27t削減(1回/日満充電にて365日使用想定計算)</li><li>・災害時の非常用電源として活用</li><li>・資源消費(化石燃料)の低減</li><li>・ピークカットやピークシフトなど系統電力を抑制</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・達成率(販売29台/目標30台):90%</li><li>・CO<sub>2</sub>低減量:95t/年</li></ul> <p>(充電回数は、1回/日にて想定)</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>達成率は、90%となりました。 今後も目標販売台数の達成に取組み、地球環境への貢献に務めます。</p>
--

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			